

物流での取り組み

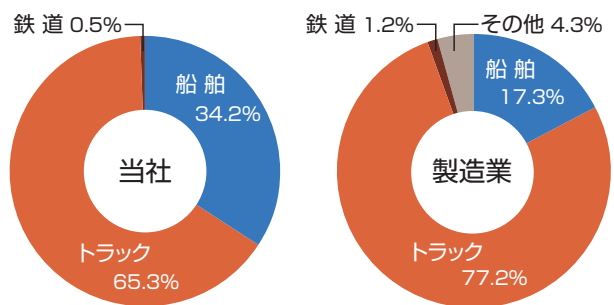
二酸化炭素削減に向けたグリーン物流の取り組みの柱として、
モーダルシフトを積極的に推進しています。

モーダルシフトへの取り組み

地球温暖化対策として、製造工程だけでなく物流面でのCO₂削減が課題となります。当社は、物流面のCO₂排出量抑制、エネルギー消費効率の向上等を目指して積極的にモーダルシフトを推進しています。

船舶輸送はトラック輸送に比べCO₂排出量を約75%削減、鉄道輸送はトラック輸送に比べCO₂排出量を約85%削減できると言われています。当社では、姫路-秋田間の特殊鋼鋼材の輸送を鉄道コンテナ輸送で行うとともに、船舶輸送の拡大に取り組んでいます。

● 製品出荷における輸送手段の内訳



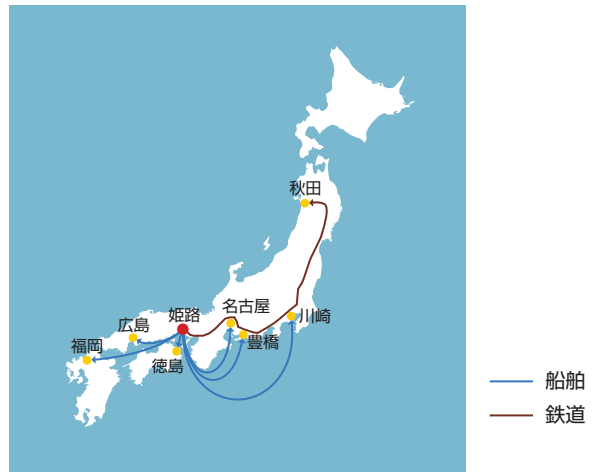
※2010年度実績より

※国土交通省「全国貨物純流動調査(2005年実施)」データより

船舶輸送の拡大

当社では本社工場(兵庫県姫路市)から東京・名古屋・四国・広島・九州方面の各物流拠点倉庫への輸送に関し、船舶を利用しています。船舶の利用比率の拡大を図ることは環境保護の点で大変重要です。

当社の全製品出荷量に占める船舶輸送比率は、製造業平均を大きく上回っています。



輸出製品に対する物流方法の改善

輸出製品の神戸港輸出本船までの輸送方法を、トラック輸送から船輸送にモーダルシフトすることでCO₂の削減に努めています。

また、2011年2月より、輸出製品を、神戸港で輸出本船に積載する方法から、本社工場近くの姫路港で輸出本船(自家備船)に積載する方法に変更し、環境に配慮した輸送を推進しています。